

授業科目名： 獣医衛生科学特別演習 A（岩手大 学）		単位数 8 単位	担当教員名： 教授・准教授
			担当形態： 単独
配当年次： 1～4 年次通年	授業形態： 演習科目		開講形態： 主指導教員による研究指導
授業のテーマ及び到達目標： 主指導教員が履修者の研究内容について指導を行い、期間内に博士論文が完成出来るよう に研究指導を行う。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究 の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限 定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶ。			
授業の概要： 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、主指導教員が期間内に博士論文 が完成出来るように、研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。			
授業計画： 獣医衛生科学講座に所属する履修者の研究内容について指導を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに直結する研究分野の研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、 データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法を指導する。 このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに直接的に関与する技術、技能を養う。 <u>研究テーマを協議し、それに応じた研究計画の立案を指導する。</u> 研究の実際の実施方法を指導する。 博士論文作成に必要なデータの管理法、解析法を指導する。 先行研究との比較、研究の限定性を含めた考察を指導する。 学会などでの成果発表法を指導する。 学術論文の作成を指導する。 博士論文発表会での発表に対する準備を指導する。 博士論文の作成を指導する。 （板垣 匡） 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統 （佐藤 至） 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染 （村上 賢二） 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・ 予防			

(山本 健久)

獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学

(寺嶋 淳)

農芸化学、基礎医学、社会医学、食品微生物学、細菌学、公衆衛生、食品衛生、予防医学

(山田 慎二)

病原微生物、防疫、疾病予防・制御

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況・態度や、実験手技ならびに結果の解釈における習熟度、理解度などにより総合的に評価する。